

SCCR 第 1 聖会  
「御霊に満たされなさい」  
エペソ 5:15~21

主題聖句：「御霊に満たされなさい。」(エペソ 5:18)

朗読箇所：15 ですから、自分がどのように歩んでいるか、あなたがたは細かく注意を払いなさい。知恵のない者としてではなく、知恵のある者として、16 機会を十分に活かさない。悪い時代だからです。17 ですから、愚かにならないで、主のみこころが何であるかを悟りなさい。18 また、ぶどう酒に酔ってははいけません。そこには放蕩があるからです。むしろ、御霊に満たされなさい。19 詩と賛美と霊の歌をもって互いに語り合い、主に向かって心から賛美し、歌いなさい。20 いつでも、すべてのことについて、私たちの主イエス・キリストの名によって、父である神に感謝しなさい。21 キリストを恐れて、互いに従い合いなさい。

## 始めに

1. お招きの感謝とテーマ
2. 「聖霊に満たされる」という表現：新約聖書中多く見られる。例：「ザカリヤは聖霊に満たされて預言した」(ルカ 1:67)、「弟子達は…聖霊に満たされて語った」(使徒 4:8、7:56 その他)。これらは特別な人々と考えられ勝ちだが、パウロは、聖霊の満たしは普通の信徒が普通の生活の中で経験する恵みである事を強調する。
3. エペソ書の概要と「聖霊の満たし」：エペソ書の主題は「キリストの体である教会」前半 1~3 章迄が教理的部分、後半

4~6章が実践的部分。特に4~5章前半は、異教社会から回心したばかりのエペソ信者に対して「今迄の罪の生活から足を洗って、聖い生活を送りなさい」と勧める(4:29、31、5:3、5:18など)。そして積極的勧告として「御霊に満たされなさい」(18節)と勧める。

## A. 「御霊に満たされる」とは？

1. 「私達の心を聖霊によって、他の要素に妨げられずに支配して頂く事」
2. 「満たされる」経験の前提は、「聖霊を宿す事」(キリスト者は聖霊を受けた者)：(ローマ8:9「キリストの者とは御霊を受けた者」、1コリント12:3「聖霊によるのでなければ、誰も『イエスは主です。』と言う事はできません。」)
3. 聖霊に満たされる条件：心を明け渡す事：アボット博士によれば「聖霊に満たされるとは、聖霊のご人格が信者の人格を所有し、支配し、指導し給う事」=お客さんとしておられる聖霊に全ての部屋を明け渡す事、その主権に白紙委任をする事。
4. 私の経験：聖会毎に、明け渡して信仰に立った「積り」になったが永続しなかった。先輩から、ローマ6:11の「あなた方もキリスト・イエスにあって、自分は罪に対して死んだ者であり、神に対して生きている者だと認めなさい(計算して、そこに安住せよ)。」との聖言を示され、単純に信仰に立つことができた。

## B. 聖霊に満たされ続ける

1. 受身現在進行形：エペソ5:18の「聖霊に満たされなさい」

は受身現在進行形。「満たされ続ける」とは、最初に満たして頂いた心の姿勢を保ち続ける事。

2. 聖霊により頼みつつ歩む:聖霊に満たされ続けるとは、必ずしも「霊的な高揚」を保ち続ける事ではなく、人格である聖霊の影響と感化をフルに受けられる状態に自らを置き、彼と交わり、主として崇め依り頼みつつ歩む事。

3. 御霊に満たされた結果

- ・ 讚美での交わり: 19節以下の「詩と賛美歌と霊の歌をもって互いに賛美し、互いに励まそう」との勧めは「分詞形」で、満たされた結果としての賛美と交わり。
- ・ 感謝に溢れる生涯:①いつでも、②全ての事について、③キリストの名で、④父なる神に対して感謝があふれる生涯が送れる。

終わりに

「満たされ続ける」為には「満たされる」始めがある。主に全く自分を明け渡し、自らをキリストと共に十字架に付けると告白し、信じて歩み始めよう。